

1	(1) 356	(2) 126	(3) 456	(4) 172
	(5) 292	(6) 72	(7) 26.7	(8) 75
	(9) 25	(10) 28	(11) $4\frac{3}{7}$	(12) 4 (枚)
	(13) 18	(14) 12 (L)	(15) 7 (cm)	

2	(1) 4000 円	(2) 400 円
---	------------	-----------

3	(1) 976	(2) 1023 番目
---	---------	-------------

4	(1) 6 通り	(2) 20 通り
---	----------	-----------

5	(1) 15	(2) 72
---	--------	--------

6	(1) 12 cm	(2) 75 cm
---	-----------	-----------

(配点) ; 各 4 点 × 25

1 (9) $1\text{ L} = 1000\text{ mL}$ $1000 \div 40 = \underline{25}$

(10) $1\text{ 週間} = 7\text{ 日} = 168\text{ 時間}$
 $168 \div 6 = \underline{28}$

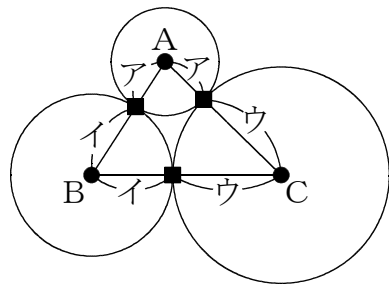
(11) $2\frac{2}{7} + 4\frac{4}{7} + 5\frac{5}{7} - 8\frac{1}{7} = 3\frac{10}{7} = \underline{4\frac{3}{7}}$

(12) $50 \times 16 = 800$ (円)
 $1000 - 800 = 200$ (円) たりない。
 $200 \div (100 - 50) = \underline{4}$ (枚)

(13) かけたときの一の位が0なので、1つは5。
 $180 \div 5 = 36$
 $36 = 4 \times 9$ より、 $5 + 4 + 9 = \underline{18}$

(14) 小さいバケツ8はいで、いっぱいまであと
 $3 \times 8 = 24$ (L) とわかる。 $11 - 8 = 3$ (はい)
 より、あと3はい水を入れると水そうから3Lこぼれる。よって、
 $(24 + 3) \div 3 = 9$ (L) …小さいバケツ
 大きいバケツ1はいは、 $9 + 3 = \underline{12}$ (L)

(15) 右の図のようにア、イ、ウとする。
 $16 + 25 = 41$ (cm)
 …ア+ア+イ+ウ
 $41 - 27 = 14$ (cm)
 …ア+ア
 よって、
 $\text{ア} = 14 \div 2 = \underline{7}$ (cm)



2 (1) (ケーキ, プリン, クッキー) としてまとめる。
 $(3, 2, 1) + (1, 2, 3) = (4, 4, 4)$ なので、 $2400 + 1600 = \underline{4000}$ (円)

(2) $4000 \div 4 = 1000$ (円)
 …ケーキ1個とプリン1個とクッキー1個
 $1000 - 500 = 500$ (円) …ケーキ1個
 $2400 - 500 \times 3 = 900$ (円)
 …プリン2個とクッキー1個
 よって、 $900 - 500 = \underline{400}$ (円)

3 (1) 2けたの整数までで99個ある。
 $123 - 99 = 24 \rightarrow$ 3けたの整数で24個目。
 $999 - (24 - 1) = \underline{976}$

(2) 3けた^{さい}最小の数である100は999番目。
 4けた最大の数である9999は1000番目。
 $9999 - 9976 = 23$ より、その23個あとの数。
 よって、 $1000 + 23 = \underline{1023}$ (番目)

4 (1) $(5\text{か}6) > 4 > (1\text{か}2\text{か}3)$ で、
 $2 \times 3 = \underline{6}$ (通り)

(2) 青が $5 \cdots 1 \times 4 = 4$ (通り)
 青が $3 \cdots 3 \times 2 = 6$ (通り)
 青が $2 \cdots 4 \times 1 = 4$ (通り)
 よって、 $4 + 6 + 6 + 4 = \underline{20}$ (通り)

5 (1) $1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6 + 7 + 8 + 9 = 45$
 $45 \div 3 = \underline{15}$

(2) あつき君は、「6+9」か「7+8」。
 かずや君の持っていない5はさとし君が、
 さとし君の持っていない2はかずや君が取る。
 残りの1, 3, 4, 6, 7, 8, 9で、さとし君
 はあと3枚取って合計を $15 - 5 = 10$ にする。
 それは、 $1 + 3 + 6$ のみ。
 よって、さとし君の取ったカードの数は1, 3,
 5, 6で、あつき君の取ったカードの数は7, 8,
 かずや君の取ったカードの数は2, 4, 9となる。
 $\rightarrow 2 \times 4 \times 9 = \underline{72}$

6 (1) $15 \div 5 = 3$ (回) 横に進むので、たてには
 $3 + 1 = 4$ (回) 進む。よって、辺ABの長さは
 $3 \times 4 = \underline{12}$ (cm)

(2) FGを15cmとして、図3と図5の場合を考える。
 FGが15cmのとき、図3は図2と同じになるの
 で、図3のGHは12cm。
 また、図5でFGが15cmのとき、
 $15 \div 3 = 5$ (回) 横に進むので、たてには
 $5 - 1 = 4$ (回) 進む。よって、このときの辺GH
 の長さは $2 \times 4 = 8$ (cm) になる。
 差は、 $12 - 8 = 4$ (cm) で、もし辺FGを15cm
 のばすと、辺GHは
 $15 \div 5 \times 3 = 9$ (cm) ふえる…図3
 $15 \div 3 \times 2 = 10$ (cm) ふえる…図5
 $10 - 9 = 1$ (cm) ずつ差が縮まるので、
 辺FGを $4 \div 1 = 4$ (回) のばせばよい。
 よって、 $15 + 15 \times 4 = \underline{75}$ (cm)

(配点) ; 各4点 × 25